

平成 26 年度 第 2 回 練馬区立生涯学習センター運営懇談会 会議録（概要）

- 1 日時 平成 27 年 3 月 25 日（水） 午後 2 時 00 分～午後 3 時 25 分
- 2 場所 生涯学習センター 第一教室
- 3 出席者 井藤委員、川井委員、中島委員、岡本委員、長富委員、田村委員、  
尼子委員、小澤委員  
（練馬区）文化・生涯学習課長  
（事務局）生涯学習センター所長、副所長、主事
- 4 欠席者 漆澤委員、津久井委員、岩田委員（練馬区教育委員会社会教育主事）
- 5 傍聴者 なし
- 6 次第 (1) 文化・生涯学習課長挨拶  
(2) 議題  
平成 26 年度事業結果報告について  
平成 26 年度施設利用状況について  
平成 27 年度事業計画について  
その他
- 7 配布資料 (1) 資料 1 平成 26 年度事業結果報告（平成 27 年 2 月分まで）  
(2) 資料 2 平成 26 年度施設利用実績（ 同 上 ）  
(3) 資料 3 平成 27 年度事業計画（案）  
(4) 資料 4 素案「みどりの風吹くまちにノ学びと文化芸術の輝きを創  
る～（仮称）練馬区学びと文化の推進プラン（平成 27～31 年度）  
  
(1)～(3)は事前配布、(4)は当日配布

8 会議の概要

<座長> 皆さま、定刻になりました。大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。只今から平成 26 年度第 2 回練馬区立生涯学習センターの運営懇談会を開催したいと思います。よろしく願いいたします。

議題に入る前に、本日の出席委員数をお願いいたします。

事務局（副所長）出席委員報告  
傍聴人報告  
追加配布資料の確認

<座長> それではお手元の次第に従いまして始めてまいりたいと存じます。次第 1、文化・生涯学習課長様、ご挨拶をお願いいたします。

<課長> 今日は年度末の非常にお忙しいところ、懇談会にご出席いただきましてありがとうございます。

今週末には、区で初めてとなるハーフマラソンを練馬区で開催いたします。天気がよければほとんど成功したものかなと思っています。

当日、交通規制など地域の方々にご迷惑をおかけします。よろしくお願ひしたいと思ひます。

改めまして、生涯学習センターの運営懇談会ですけれども、第 2 回ということで、第 1 回以降のことを中心に、本日、ご報告をさせていただきながら、ご意見を聞いていきたいと思ひます。

今日机上に配布をさせていただいた、「(仮称)練馬区学びと文化の推進プラン」の素案が出来上がりました。この「プラン」の中にも載せたとおり、生涯学習と文化を関連させながら、もっともっと花開かせていきたい、そういう思いで皆さんとともに、懇談会等も開催しながら作ってきたものでございます。

生涯学習センターも、「公民館」から「センター」に名称を変えました。本当に生涯学習の中心的な施設となるように、今後も活動を続けていくために、忌憚のないご意見をいただければと思ひますのでよろしくお願ひいたします。

<座長> ありがとうございます。

それでは、次第 2 議題<1>の「平成 26 年度事業結果報告について」、そして議題<2>の「平成 26 年度施設利用状況について」について、お話をさせていただきたいと思ひます。これはまとめて説明をしていただき、議論をしていただければありがたいと思ひます。

それでは、事務局からよろしくお願ひいたします。

所長より資料 1・2 をもとに説明（内容省略）

<座長> 皆様のご意見をどんどん反映していきたいというところでございますので、ご質問等がございましたら、是非お出してください。

<委員> 「満足度調査」については、私感銘を受けたのが、ずいぶんいろんな行事についてもかなりの参加率を得てはいるわけです。けれども、練馬区は大きいものですから、どの地区の人がどれくらい集まっているのかということのをこれまで調べられてはいなかったんじゃないかと思うんです。

というのが、実際にいらっしゃる方というのはこの行事を知っているものですから、同じ方がずーっと参加していると。それはそれで大変いいことなんですが、反対に知らない方たちがもう少し入ってくるのをどう広げていくかという課題を仮定した場合、どの地区の方が参加者の中に多いのかというのが参考資料の中にあれば、また何か考えていかなければいけないのかなという気もしたものですから。

この前、私どものサークル文化祭をやった時は、アンケートの中に、住所じゃなくて郵便番号を記するようにしておりました。それでもかなり参考になるのではないかと思います。

そういうようなことがあればいかがかなと思ひまして。

<座長> ありがとうございます。今、委員の方から意見がございましたが、何かお考えでもあれば。

<所長> 以前は参加者の住所を記録していましたが、今はそこまでやってございません。おっしゃる通り、この近辺の方の参加が多い状況です。

ただ、やはり区報をご覧いただいたり、ホームページをご覧いただいている方は、遠方からもおいでいただいています。ただ比率が低いのは事実でございます。

今言われた郵便番号というのも良いと思います。そういった方法もちょっと考えさせていただきます。ありがとうございます。

<委員> アンケートというのはただ「満足度は非常に高いですよ、だから我々のやっていることは良かったんだ」という自己満足に終わっちゃいけないんですね。

何故満足したのかということを取っていく。そういうデータを蓄積することによって、これから先なんですけれども、より生涯学習センターとしてのアプローチの方向性の一つの参考にできるんじゃないかなと。

アンケートをせっかくやって、せっかくこれだけのデータが取れているんで、細かく見ていないんであれなんですけれど、将来生涯学習センターにより多くの人に来てもらうために、どんなアプローチをしたらいいかなってわかるようなね。

満足っていうのはそれはそれでいいんですがね、これはこれで自己満足的なものでもいいんだけど、もう一つブレークダウンしたものをうまく組み込みながら、せっかくのチャンスですから、アンケートを取って行って、将来のデータの基盤にできるようにしておければ、何かの役に立つんじゃないかなという感じがしました。

< 所長 > 実は貴重なご意見を備考欄に沢山いただいています。ここにはちょっとまとめができませんので載せられないんですが、実は「こんなことをしてくれ」とか「時間帯をもっとズラしてくれ」と多々ございます。

それはある程度、私どもの方でまとめてございます。

それによって、次回であったり、翌年度に向けて、時間の調整をした方がいいのかとか活用しています。

ただ、その声あまり少数であればそれはそれで厳しい。ただ少数でもそれをやればその方々の層は来るんだな、そういうようなデータはまとめてございますので、それをもとに私どもも担当と共に、調整はさせていただいています。

ただ、平日の日中にやれば、どうしても高齢者の方が多くなってしまいます。

じゃあ、夜間で遅ければ若い人が来るかということ、やはりタイムリーな内容でないとお客様は来ない。

若い人たちを中心にやってしまうと、「何でその事業を昼間やらないんだ」と高齢者の方からご意見をいただいたり。

非常に微妙な所なんですけれども、逆にそういった意見をいただけるから我々も前に進めるんだなと思っております。

基本的にはある程度しっかりとまとめているつもりでございます。

< 委員 > この生涯学習センターと同じような活動をしている場所や施設は練馬区内にもいくつかあると思うんです。名称が違ったり、運営の課が違ったり。

光が丘だとか、大泉にも同じようなものがあると思います。

そういう施設と比較するということのもあるいは面白いんじゃないかなと思うんです。

ただ、ここの設備が、建物自体もそうですけれども、教室の数だとか、ホールの広さだとか、ここが一番大きいんですかね？

< 所長 > ここはホールがございしますが、部屋数がそんなにあるわけではないと思うんですね。光が丘の区民センターとか、部屋数が結構ございますし。生涯学習センターの分館もかなりございます。ここが一番数がある施設ではないですね。

< 座長 > 他にございますか？ なければちょっと。

今お話が出てましたけれど、貸し教室だとかは、地域集会所があちこちの地域にはございますね。そこは借り手がものすごくありまして、どこも大体満杯で取れないんです。

ここはとてもいい、お教室もあるし、なぜ使う方が低下して、もったいないなと感じております。そして事業もものすごくいいものを行っていますよね。その中で、やはり先ほどのご意見が出ましたように、知らせ方なのか。

それから、借りる場所が無い無いてご意見もあるんですけど、結構空いているんで

すよね。

だから借りる側が場所をなんとか日にちを合わせて使うかにしないと。

ただ、使う側にしたら週 1 回とか月 2 回、曜日を決めて集まっているので、それが会場が無いってところジレンマだと思うんですね。そのへんは何かひとつ一工夫であるとか。所長さん、前からこの辺のことはこの会議で出てますよね。

< 所長 > はい。

< 座長 > いいアイデアはなかなかないと思う。みなさんの中で「こうしたらどうだろう」ってご意見はないですかね。

< 所長 > まず事業の広報の仕方については、サークル文化祭の展示会をやった時、口コミであったり、ご自分たちでチラシを撒いたりというのがありました。ただ、それがいいというわけではないわけですがけれども、私ども公的にできるものという、区報に載せたり、ホームページに掲載したり、町会・自治会の掲示板をお願いをしたり。あとは公共施設にチラシ・ポスターを置く位なんですね。なかなかそれ以上できない部分が実はございます。

それで足りない部分についてはツイッターであったりといったこともやっております。広報を広げれば広げるほど、区外の方からの参加希望も増え、若干微妙でございます。

区報も、やはりもう一言添えればわかりやすいのにな、と思いながらも、スペースが一杯でなかなか難しい状況です。

空き部屋の件ですけれど、やはり平日活動される方たちと土日活動される方たち、そして夜間。だいたいこの 3 つくらいに分かれると思うんですね。どうしてもやっぱり平日ですと、毎週何曜日とか、決めちゃっている。毎月違う曜日を取るっていう団体はほとんどないんですね。それはやっぱり講師の方との関係があるでしょうし、自分たちの色々な予定の中の関係もあるでしょうし。

その中でやはりありますよね、週のいつ、この時間帯って必ず空いているよなって実はあるんです。そこを貸し出すというのは難しいと思います。

じゃあそこを私どもで主催事業で埋めればいいのかというと、やはり使わない以上、人があまり来づらいということで。これはやはり事業をしながら貸館をしている各施設の悩みどころではあります。

ただ、できれば、ポンと出せば何曜日はどこの施設が空いているよっていうのが出るようなシステムがあれば、それはそれで例えば「今日使いたい」という団体から見れば、非常にいいのかもしれないですね。

ただとにかく、利用枠も決まっていますし、抽選でございますし、利用団体の数と、利用者の意思と。また私どもの部屋の数、時間帯が実際にあっていない部分も若干ある

のかなと。これはやはり区全体で考えないとちょっと厳しいものがあります。

<座長> ありがとうございます。本当に、ポンとやれば出るようなシステムというのはすごいなと思います。課長さんもいらっしゃることですから、区全体で。やはりもったいない施設ですから、使えるような方向ですかね。ここで「こんなのがあるよ」って意見が出たら素晴らしいことなんですが、なかなか無いようですからね。

<委員> システムとしてはできなくても、例えばこの表（注：週別・時間帯別利用率のこと）を定期的に見ることはできるんでしょうか、一般の人が。

こんなのを公開できるのか、またしていいのかどうか分かりませんが、利用できると思いました。

<座長> そうですね。それを外に出していいのかどうか分かりませんが、

今まで月曜日はここはお休みだったんですね。使えるようになったので、なるべく空いている所を使って・・・

<所長> 基本的には月曜日は、第二月曜日以外は休館でございます。

<委員> これは使った利用率ですよ。利用率が低いということは使っていないということですよ。

<座長> いろいろと使い勝手も、せつかくのものですからみなさんのお知恵をいただきながら、これからも進めていきたいと思いますがいかがでしょうか。

<委員> 例えばここの部屋には初めて入ったんですが、つなげてみると（注：第一・第二会議室のパーテーションを外して懇談会を開催している。）かなりの広さがあるんですけど、床がフェルト（絨毯）というのは何か意味があるんですか？

リノリウムの方が誰にでも使いやすいんじゃないかと思いますよ。リノリウムの方が掃除も楽だし、例えば私は社交ダンスをやっているんですが、そういうのにも使えるし。他の小さい部屋は音響だとかの関係でフェルトが必要なのであれば、小さな部屋はそういう風にしていただいて、大きい部屋は多目的に使えるようにしたほうが、金がかかるかどうか分かりませんが、その方が使いやすいんじゃないかと思います。

<所長> 例えば幼児を抱えた団体であれば、ここですとそのまま遊べるというのがあります。

全て同じ床で、全ておなじようなことができるようなところがいいのか、それとも厳

選していった方がいいのか、考え方は二つあると思うんですけども、今、ここをPタイプに変える予定はございません。予算はございませんので。

今、パーティションで分けることが施設として多い所かどうか分かりませんが、基本的にここは学習するための部屋として作られたんだろうなと思っております。経緯がちょっと分かりませんので、私も答えようがありませんが。

ただ、これからもし改修するようなことがあれば、皆さんからご意見を聴くなど、どういう使い勝手が一番必要なのかというところで、床にしても防音にしてもいろんなものが変わってくる。例えば黒板はホワイトボードになるでしょうし、そういったものを切り替えていくときのご意見をいただいていくということになるかと思えます。

<座長> ありがとうございます。本当にもう何十年も経っておりますんでね、いずれ変わる時にはいろんなご意見を入れながら、使い勝手のいい方向を取っていったらと思う。ご意見をどんどん出していただきたいと思えます。

<課長> 今のシステムについて動きがございますので、お話だけさせていただきます。

今の公共施設予約システムが変わります。28年の1月から新システムに移行します。

もう少し使い勝手が良くなるということで、今、使い勝手の仕様を検討しているところです。

施設を一覧的に見れるかどうか、例えば今、ダンスならダンスと入れると、ダンスが可能な部屋というのが全部出てくる形になっていますので、あるいは講座、勉強会とやると、各部屋が全部見れる状態に現在なっています。それを更に見やすくしていきましょう、ということをやっています。

それからもう一つは、この会でも2年ほど前に一度ご意見をお伺いしたことがあるんですけども、部屋の枠を、今「午前」「午後」「夜間」ということでやっていますけれども、これの「時間貸し枠」ということで、1時間単位で貸せないかというご意見が非常に強くございます。これも、どういう形になるか分かりませんが、27年度中には結論を出していくということで考えています。

私どもの方としては、今の所ですけども、「枠貸し」で最初オープンにして、その後、1か月前になって、空きがあるならば1時間でもどうぞと、いうことでまとまればいかなと思っています。このあたりについては、この4月5月6月位で決めていかなければいけないということもございます。

ただ、「場所が悪い」とか「ここに行かれない」とかそういう場所もいっぱいありますので、そういう意味ではみなさん工夫をして使えるような、システムでわかるような形に変わっていくと思えます。

<座長> ありがとうございます。本当に28年1月からかなり変わっていく、皆さんに使

いやすいようになるようでございます。ここの意見もかなり入っているようでございますので、懲りずにどんどん出していただいて、使い勝手のいいようにしていただければありがたいと思っております。

施設利用については、よろしゅうございますか？

この表が出たんで、声が出て良かったなと思います。ここでどんどんご意見を出していただいて、課長さんも全部それを聞いていただいて。

昔は教育委員会だけ、ほとんどここだったんですが、部局が変わり、横のつながりがかなり広がり、施設もつながってわかるようになってくるので、皆さんにとってもいいんじゃないかなと思います。

よろしゅうございますか？ この件についてご意見がなければ、次に進めてまいりたいと思います。

では、議題(3)の「平成 27 年度事業計画（案）」について、事務局からお願いします。

所長より資料 3 をもとに説明（内容省略）

<座長> ありがとうございます。

只今、所長さんの方から 27 年度の事業計画案について、いろいろとご報告をいただきましたが、皆さんご意見ございますでしょうか？

大変いい内容が盛り沢山ですので、参加できるところは皆さんもご参加いただければと思っております。

無いようでございます。次に進ませていただきますが、よろしゅうございますでしょうか。

それでは最後になりましたが、次第 3、「その他」のところ、「素案 みどりの風吹くまちに 学びと文化芸術の輝きを創る」について、説明を課長さんよろしく願いいたします。

<課長> 本日お配りさせていただいております、この「『(仮称)みどり豊かなまちに / 学びと文化芸術の輝きを創るプラン』素案」という冊子がございます。

「みどりの風吹くまちビジョン」という区政運営の新しいビジョンということで、前川区長が就任して今後 5 年間のビジョンにつきまして策定が終わったところです。

その中の文化と生涯学習分野の個別の計画として策定をしているものです。

今まで「文化芸術振興計画」というのと、「生涯学習推進計画」というのがございました。これが 26 年度で計画期間が終わりますので、27 年度からの新たな計画として策定しているものです。

ここに「素案」と書いてあります。4 月 11 日号の練馬区報で、5 月 11 日まで「区民意



見反映制度」に基づいて区民意見を聞きます。その上で 6 月に修正をし、作成をするという予定のものでございます。

以下、課長より「素案」の概要について説明（内容省略）

<座長> ありがとうございます。今、すぐに全部の把握はできないでしょうけれど、区報等もずいぶん今までと変わりましたね、皆さん見やすくなったし盛り沢山になりますよね。

今、文化芸術についてもそうだし、地域の皆さんの力をお借りしながら、区民の一人一人の向上ということでこれを出されておりますので、4月11日号をご覧になりながらご意見を出す場があったら出していただきたいし。

またこの懇談会も年に2回ですからね、なかなか出しづらいこともありますけれども、ご意見を持ってきていただいて、どんどんどんどん反映していったら、区民一人一人が関心を持っていただけるようになっていけばいいなと思っています。

71万区民ですから、かなり大きいですよ、23区の中では。人数が多ければいいというわけじゃない、高齢化社会に向かって皆さんの底辺の力をつけていかないと、ただ年を取って長生きをするだけではつまらない人生じゃないかと思っております。

みなさん、どんどんご意見を出しながら、自分のできることを出していただければ幸いです。

ご意見ございますでしょうか？ この件について。

とてもいい案になっている。私もちょっと関わらせていただいて、かなりお話をさせていただいてきております。

今すぐこれをお読みになってご意見をというのも無理かと思いますが、よろしく願いしたいと思っております。

ご意見がなければ次にまいりたいと思っております。

事務局から何かございますでしょうか？

<課長> 人事異動の内示がございました。生涯学習センターについても職員が異動で変わります。

特に、長年センターを引っ張ってきた所長が定年退職になります。

最後、このセンターで現役を一旦退く。この後もいろいろな場所で活躍されると思います。是非皆様の前で一言ご挨拶をいただければと思いますので、ご許可を頂いて。

<座長> 所長さんから一言いただく前に私から。

本当に、生涯学習センターが変わる時、大変な時にここをやっていただいてね。定年なんて考えられない、お若くて。私もびっくりしているんですけど。

まだまだ活躍の場、おありになると思いますが、ここでけじめだということで、皆様に一言お願いします。

< 所長 > ありがとうございます。

私事でございますが、今月いっぱいできりあえず一区切りでございます。4月から遊んでいるわけにもいきませんので、違う職場で又働きますが、ただ皆様に本当にご協力をいただいたことを感謝しながら、またこの会が一応私の一つの区切りで、終わるということで、皆様のお顔が見えたということは、とてもうれしいです。ありがとうございます。

また今後とも、所長が新たに変わりますけれども、ご鼻負いただきまして、よろしくお願ひいたします。

本当にありがとうございました。

< 座長 > それでは、ここでご意見が無いようでしたら、副座長の方からご挨拶をいただきたいと思ひます。

よろしくお願ひいたします。

< 副座長 > 懇切丁寧なご説明と、ならびに熱心なご討議を承りまして、ありがとうございます。

< 座長 > そんなわけで、私も副座長と長くやらせていただいて、これからもどこまでできるか分かりませんが、みなさんのご協力で、練馬区に一つしかないこの生涯学習センターをよりよく、区民が使いやすい、我々も意見が出しやすい雰囲気になっていけたらと思っております。今後とも皆様のご協力、よろしくお願ひいたします。

ありがとうございました。